

令和5年度 葵が丘小学校 学校評価

I 令和5年度の取組

質の高い学習・生活の実現【主体的・対話的で深い学びの実現 一人一人が活躍できる場の保障】 学習・生活の基盤整備【実践的指導力の向上 学校と地域、家庭の一体的推進、地域における子供の活躍】		
【知】 確かな学力を育む：確かな学力プラン	【徳】 夢や希望を育む：心の育成プラン	【体】 健康・安全を育む 健康・安全育成プラン
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習習慣の定着と授業規律の徹底を基盤とした基礎基本の確実な定着 ○ 主体的・対話的で深い学びができる授業づくり ○ コミュニティ・スクールの推進と「学ぼうふるさと」学習の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学びがいのある学習課題の設定 ・ 全教科領域において、それぞれの特性を生かした見方・考え方を働かせた授業構成 ・ 効果的な教科担任制の導入 ・ S D G s を意識した学習計画 ・ I C T の効果的活用 ・ 教員の資質向上研修 ・ 体験探求活動の実践 ・ 地域の教育力を生かした教育活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳性を養う授業の実践と道徳実践力を培う教育活動の充実 ○ いじめ予防教育の理解と実践 ○ 学級活動及び学校行事等での活躍できる場の保障と実践 <ul style="list-style-type: none"> ・ 葵グループの親和的な交流を通じた居場所づくり ・ 目的意識を持った委員会活動を通しての主体的な学校づくり ・ 葵グループの活動での異学年の思いを共有することによるリーダーシップの育成 ・ 児童会が主体となる活動を通じたより安全・安心な学校の実現を目指した取り組みの実践 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個々に目標を定め、その達成を目指す体育科の授業や学校行事の充実 ○ どの子ども安心して学級・学校生活鷲を送る子供一人一人を理解した学級経営とニーズに応じた子供支援 ○ 保健指導・安全対策の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育科授業や学校行事の充実・体力作りの日常生活における意識化 ・ 配慮を要する児童の実態把握と組織的支援の充実 ・ 保護者や地域と連携協力し、児童が、防災・防犯・交通安全の大切さを理解した状況にあった適切な行動をとることのできるような安全指導の充実、通学路や地域の安全確認、見守り ・ 感染症予防の指導や学校全体での対策の見直しと実施
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域とPTAの連携による学校行事及び学習活動の支援の活性化 ・ 地域行事等における児童ボランティア等の主体的参加 ・ 学校支援CDを中心とした学校支体制づくり 		

II 自己評価 ○ 児童の評価

で 指す 中 校 区	ルールやマナーを守り、よいこと・悪いことを判断して行動している。	84.3%
	地域の行事に進んで参加している。	52.5%
	自分や周りの人を大切にしている。	88.8%
葵 っ 子 宣 言	だれとでも明るく心のこもった挨拶をしている。	82.8%
	人への思いやり・助け合い・ゆずり合いの気持ちを大切にしている。	88.3%
	強い心を持ち、どんなことにも全力で取り組んでいる。	86.8%
学 力 確 か な	授業の内容が理解できる。	86.8%
	自分なりに進んで考えたり工夫したりして、学習に取り組んでいる。	84.6%
希 望 や	学校での学習は、自分の生活や将来に役立つと思う。	87.5%
	学校や学級のみならず楽しく生活できるように委員会や係の活動ができています。	87.7%
安 全 ・ 健 康 ・	健康的な生活ができるよう気を付けている。	78.7%
	不審者や交通事故など、身の回りの危険に気を付けて生活している。	92.5%
学 校	先生は、勉強がよくわかるように教えてくれる。	93.2%
	先生は、いじめがなく、みんなが仲良く過ごせるようにしてくれる。	91.7%
	先生は、困ったことがあったときに相談しやすい。	82.2%
	学校は、安全や健康に過ごすために大事なことを教えてくれる。	91.9%

○ 職員の評価

- ・ 主体的・対話的で深い学びが実現できるように職員研修を進め授業改善を行ってきたが、児童一人一人が基礎学力の定着を図るために、粘り強く学習に取り組めるように工夫が必要だと感じている。さらに児童がより主体的に学べるように魅力のある課題設定とさらなる授業改善を行い、学習をより充実させていく。
- ・ 学校説明会や面談、懇談会などで児童の様子を伝えながら家庭との連携を図ることができた。今後も信頼関係の構築に努めると共に、家庭学習の在り方についても児童や保護者に呼び掛けていく。
- ・ 授業等において ICT 機器の積極的な活用に取り組んだ。今後も学年ごと年間を見通した継続的な活用（モラル指導を含む）を計画的に進める必要がある。また家庭にも持ち帰り、より有効的な活用ができるように準備をしていく。
- ・ 学校支援 CD の支援体制が整い、目的に合った外部講師の招へいやサポーターの参加が増え、体験的活動が充実した。今後も年間を通して計画的な実践が必要である。
- ・ 葵グループでの活動では、児童による自治的活動を増え、高学年がリーダーとして活躍できた。自己有用感を高めた。
- ・ リレー大会、持久走練習など体力アップの取り組みを全校で行ったが、体力の低下が続いている。また校内における小さなけが等も多い。児童の健康・安全に対する意識の向上を図る必要がある。

IV 今後の改善方策

- ◇ 「主体的で対話的な深い学び」が実現できるよう、魅力のある課題設定、授業改善に向けて、研修に取り組む。また、学校支援CDと連携し、専門的かつ体験的な学習の場を計画的に設定する。
- ◇ 温かい関わり合いができるよう、ピア・サポート研修の推進、ピア活動の充実を図っていく。今後も継続していじめ予防教育の理解と実践に行う。アンケートでの調査を引き続き実施しながら、児童との対話を大事にしていく。
- ◇ 情報活用能力の育成を目指し、タブレット等 ICT を有効活用した授業の推進を図る。授業での活用だけでなく、家庭にも持ち帰り、家庭学習でも利用できるような機会を作る。
- ◇ 教育活動全体を通し、キャリア教育で身に付けたい力につながっているかを意識した活動計画を立案していく。また、委員会活動や葵グループでの児童会活動では、より主体的により自治的になるよう活動を仕掛け、リーダーを育成するとともに、自己有用感のある居場所づくりを行っていく。
- ◇ 体育科の学習、持久走記録会、外遊び等の体力アップの時間を通して、目標に向かってねばり強く挑戦する態度を育てる場を工夫し設定する。また、いろいろな遊びを提案し、楽しみながら運動感覚を養えるように仕組む。

○ 保護者の評価

で 指 す 中 校 区	お子さんは、ルールやマナーを守り、よいこと・悪いことを判断して行動している。	91.9%
	お子さんは、地域の行事に進んで参加している。	43.6%
	お子さんは、自分や周りの人を大切にしている。	93.5%
葵 っ 子 宣 言	お子さんは、だれとでも明るく心のこもった挨拶をしている。	71.3%
	お子さんは、人への思いやり・助け合い・ゆずり合いの気持ちを大切にしている。	91.5%
	お子さんは、強い心を持ち、どんなことにも全力で取り組んでいる。	74.2%
学 力 確 か な	お子さんは、基礎的・基本的な学習内容が定着している。	78.2%
	お子さんは、主体的に学習に取り組んでいる。	61.6%
希 望 や	学校での学習は、お子さんの生活や将来との関連が図られている。	63.8%
	学校行事や特別活動（委員会、係活動など）は、子供たちの自主自立が育つように行われている。	80.6%
安 全 ・ 健 康 ・	お子さんは、健康的な生活ができるよう気を付けている。	81.7%
	お子さんは、不審者や交通事故など、身の回りの危険に気を付けて生活している。	92.2%
学 校	学校は、お子さんを理解し、個に応じた支援をしている。	79.0%
	学校は、いじめのない学校・学級・集団づくりに取り組んでいる。	75.9%
	学校と家庭は、教育相談等により、相談しやすい関係となっている。	91.7%
	学校は、安全確保や健康管理のための取り組みを行っている。	91.2%
	学校は、たよりやホームページ等により、必要な情報を発信している。	92.1%

III 学校運営協議会による学校関係者評価

- ・ CS設立2年目になり、組織としてしっかり確立し、委員間で活発な意見交換が交わされた。充実した熟議の結果、子供たちが学校や地域で、規律、仲間づくり、自主性・思いやり・助け合いの心を育み、成長した姿を見ることができた。今後もいじめのない学校を目指し、いじめ予防教育の実践に努めていくことが大切である。
- ・ 学校支援コーディネーターや多くのサポーター、企業の協力により、今年度も充実した学校支援活動ができた。子供たちが様々な経験を通して、働くことの大切さや人との絆など多くのことを学び、成長の糧になった。
- ・ 学校運営についても校長より詳しい説明を受け、これから生きていく子供たちに必要な力を付けるために、どのような経験が必要か、どのようなサポートが必要か、充実した熟議をすることができた。
- ・ さくら連絡網や紙媒体で情報発信を行っているが、CS活動について保護者に対して理解してもらうまでには至っていない。運営協議会としては、十分実施されたと理解しているが、地域への発信が足りないことから、今後も情報発信のあり方について考えていきたい。また、地域行事や懇談会等の学校行事に参加する家庭を増やしていきたい。
- ・ 来年度の取組として、『子供の主体性の育成』が掲げられたが、大賛成。その導き方なども踏まえ、より充実した熟議が行えるよう努めたい。